



※この資料は、厚生労働記者会・農政クラブにお届けしております。



2012年1月吉日

報道関係各位

～継続性のある活動へ 5 回目のフードドライブ開催～ 「家庭にある食料品をカーブス店舗へお持ちください！」 集まった食料品を全国の福祉施設などへ寄付

女性だけの30分フィットネスチェーン「カーブス」*1では、全国約1,067の店舗*2において、家庭にある常温で保存できる食料品(賞味期限が2012年5月1日以降の食料品)を募り、地域にある児童養護施設や母子生活支援施設といった女性や子ども達、高齢者の方々のいらっしゃる施設・団体に寄付をする『フードドライブ』活動を、2012年1月16日(月)から2月15日(水)までの1ヶ月間実施いたします。

この活動は、カーブス会員の皆様に加え、地域の皆様にもご参加いただける、地域密着型のボランティア活動です。店舗に集まった食料は、店舗地域の福祉施設などへお届けいたします。

*1 日本での「カーブス」FC 本部:株式会社カーブスジャパン(住所:東京都中央区/代表:増本岳)

*2 一部店舗ではお預かりのみになります。

■ フードドライブ活動ってなに？

このフードドライブ活動は、米国で1960年代に始まり、学校や企業、地域などで定着しています。米国のカーブスでも1999年より、この活動を実施しており、日本のカーブスでは2007年11月に初めて全国で同時に実施。参加者の「お歳暮やお年賀の後の方がもっとあるのに。」という声を反映し、3回目より実施時期をお正月明けの1月に変更し“フードドライブの日”として日本記念協会に登録をした1月15日からの1ヶ月間活動しています。5回目の開催となる今回、一昨年末に端を発したタイガーマスク現象や東日本大震災への支援の様子をみていると、寄付文化のない日本でもこのような活動への関心の大きさに、一層の盛り上がりを実感しております。

また4回の活動を通じてこの活動を一過性の行為にとどめてはいけなさと感じています。実際に、加盟店オーナーによる施設へのご挨拶まわりや、中には施設にとってより望まれるものを提供しようと、運営するバザーへの協力をする店舗が現れるなど、回を重ねるごとに、地域に密着しているカーブスならではの活動となりつつあります。食料品をお届けした施設からは“継続性のある活動”による支援へのお礼をいただくことも増えており、活動の意義を改めて認識しています。

【進呈先福祉施設からのお声】

昨年末から各種報道にてタイガーマスク運動として児童養護施設などへの寄付活動が数多くなされていることが取り上げられており、社会的に児童福祉に対して関心が高まっていることは嬉しい限りです。また、貴社のようにそれ以前から社会福祉、特に児童福祉事業に対してご理解とご協力頂いている方々から変わらず、社会貢献活動としてご継続いただいておりますことは、私ども施設をはじめ、多くの社会福祉事業に携わる者として大きな感動と自信に繋がっております。

－ カーブスフードドライブ 過去実績 (第1回～第4回) －

	実施期間	参加者数	進呈内容	進呈施設数
第1回(2007年)	11月1日(木)～11月30日(金)	28,000人	約50t	296
第2回(2008年)	11月1日(土)～11月29日(土)	30,000人	約40t*3	336
第3回(2010年)	1月15日(金)～2月13日(土)	50,000人	約60t	481
第4回(2011年)	1月15日(土)～2月15日(火)	62,000人	約73t	400

*3 事故米流通の影響で、お米・米製品のお預かりを見合わせたため減少。

－ 第5回フードドライブ活動 実施概要 －

実施期間	:	2012年1月16日(月)～2月15日(水)
実施店舗	:	全国のカーブス店舗約1,067店舗(2011年10月オープン店舗まで)
参加者	:	カーブスのメンバー、一般の方々
寄付内容	:	賞味期限が2012年5月1日以降の常温で保存できる未開封の食料品 (例:缶詰やレトルト食品、お米、乾麺、調味料など)
寄付先	:	各地域の児童養護施設、女性と子どものための民間シェルター、介護施設など
協力	:	セカンドハーベスト・ジャパン

■ フードドライブ実施風景

(店舗内風景:カーブス都立大学)



(運搬風景:カーブス戸越)



■ ご取材について

お電話、メール、FAXにてご希望をお伺いいたします。

また、ご要望に応じて、下記のようなご取材のアレンジをお手伝いいたします。

お気軽にお問い合わせください。

- インタビュー アレンジ
 - カーブス店舗スタッフ・フランチャイジーオーナーインタビュー
 - 食料品をお持ちいただいた方の撮影及びインタビュー ※撮影許可をいただける方
 - 本社フードドライブ担当者及び役員のインタビュー ※地方の場合は電話及びメール取材
 - 寄付先・代表の方のインタビュー
※ご取材許可をいただける各地区の施設をアレンジいたします。食料品の進呈式を実施する地区もございます。
- 撮影場所
 - カーブス店舗内での撮影 ※店内の様子、食料品が集まっている様子 など
 - カーブス本社での撮影
※フードドライブに関する会議風景、準備活動(各施設への御願い、各店舗の調整、施設への搬入方法の指示)
 - 車(簡単なフードドライブ装飾)を使用して、店舗から寄付先の施設への運搬場面(2月中旬～)
 - 寄付先の施設(施設許可申請中)

※その他、ご取材内容に関してのご希望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

【この資料に関するお問い合わせ先 ・ ご取材のお申込は】

株式会社カーブスジャパン 広報室 片桐・小泉

TEL:03-5643-2981、FAX:03-3249-8733、E-Mail:pr@curves.co.jp

【株式会社カーブスジャパン 会社概要】

設 立 : 2005年2月28日

代 表 者 : 増本 岳

資 本 金 : 1億

従業員数 : 129名(2011年6月末日現在)

事業概要 : 女性だけの30分フィットネス「Curves」のフランチャイズ展開

所 在 地 : 東京都中央区日本橋堀留町1-3-19 チョーギンビル 5階

親 会 社 : 株式会社コンダカホールディングス(JASDAQ 証券コード 2157)

日本でのFC本部であるカーブスジャパンは、「日本の女性を健康にしたい」という思いから2005年2月に設立、7月にカーブス直営1号店をオープンしました。その後FC展開を中心に全国に出店、2年後の2007年7月には47都道府県に店舗数500を達成いたしました。2011年6月に1,000店舗を超え、異例のスピードで国内最大店舗数のフィットネスチェーンとなっております。現在日本の会員数は約43万人で、将来的には約100万人の会員獲得を目標としています。